

2024年1月5日(金)

関東教区の能登半島地震における被災支援について

日本基督教団関東教区
総会議長 熊江秀一
教区常任常置委員会

主の御名を賛美いたします。

主の年2024年が始まりました。

その元日に発生した最大震度7の能登半島地震において甚大な被害が出て、今も沢山の方々が行方不明となっています。日本基督教団の教会も輪島教会がほぼ全壊状態となり、また教会員宅の焼失をはじめ、中部教区の石川地区の教会・伝道所、関係施設、信徒に大きな被害が出ています。

関東教区の新潟地区でも最大震度6弱となり、それぞれの教会で大きな揺れがありました。花瓶や本等、物の落下はありましたが、現在のところ教会に建物被害はでていないとのことです。

関東教区では教区内外の被災状況を確認し、臨時常任常置委員会を宣教部委員長(災害支援委員会統括)も交えて4日(木)夜にズームで開催しました。以下のことを決定しました。

- ・関東教区(特に新潟地区)には現在のところ建物被害はないが、信徒・関係者も含め調査を続け、被災があった場合は支援(お見舞金)をする。
- ・中部教区に関東教区の教会・伝道所からの祈りと支援として災害支援金会計から50万円を献金する。
- ・関東教区の教会・伝道所から被災地にボランティアとして行く場合は、教区の災害支援金会計から交通費などを支援する。

なお、「能登半島地震緊急救援募金」が、日本基督教団社会委員会より呼びかけられています。

詳細は以下の通りです。

募金期間：特に定めず

目標額：特に定めず

送金先：加入者名 日本基督教団社会委員会

郵便振替 00150-2-593699

※通信欄に「能登半島地震緊急救援募金」とお書きください。

献金用途にご指定がある場合は、通信欄に下記のようにご記入ください。

例) 人道的支援のため 教会等再建支援のため

また、ボランティア等の被災支援に関しては、行方不明者の捜索が行われている最中ですので、ボランティア派遣には時間を要すると思われます。今後、日本基督教団や中部教区の支援要請などを見ながら、ボランティア等の支援状況を鑑みつつ、関東教区としてできる支援活動を探っていきたいと思えます。中部教区のホームページで状況が更新されていますので、そちらもご覧いただければと思います。

被災された教会・伝道所、地域の方々に主の支えと守りをお祈りいたします。